数字	サンバリング 授業科目名(科目の英文名) 区分・【新主題】/(分野) 授業形式																	
受している 対象を攻 大田 東京 東田 東京 東京 東京 東京 東京 東	, ,					XX 11)			Į Ż									
### 2	M314\	103 (Bio	logical Info	rmation Engin	eering)													
### 2	必修選	· 単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	7	の他に使用する言語			担当	1形態	į				
製	必修	2	1		後期	火2	日本語			単独								
国標1 版における神経期間の社場かとそので見かけとその感覚入力に基づいた知覚特性について説明できる。 日曜2 世紀7	当 教員 E-mai 足 と を 身 の 概	当 技 見 E-mail uemi®oita-u.ac.jp 内線 7301 とトがどのように周囲の世界を認識し知覚し行動しているかをその情報処理機構から学ぶことにより、生物のシステムの巧みさとその仕組みを新しい技術に役立てる考えが を身につける。																
原理: 記受: 記述内容と必要性感覚疑の特性とその感覚入力に基づいた知覚特性について説明できる。	具体的な狂	到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7		
世帯3 上記内育と福祉工学との開選性について説明できる。 日曜5 日曜6 日曜7 日曜8 日曜7 日曜8 日曜9 日本の商報処理システムの構成 日本の商報処理システムの構成 日本の商報処理システムの構成 日本の商報処理システムの構成 日本の商報処理システムの構成 日本の商報処理システムの構成 日本の商報処理システムの構成 日本の商報処理システムの構成 日本の商報処理システムの構成 日本の商報処理・日本の事業性について 日本の商報処理・日本の事業性について 日本の商報処理・日本の事業性について 日本の商報処理・日本の事業性について 日本の事業性について 日本のの事業性について 日本の市産の情報処理・関係の解説を占対性 日本の市産の情報処理・関係の解説を占対性 日本の市産の情報処理・関係の解説を占対性 日本の市産の情報処理・関係の関係と対性 日本の市産の情報処理・関係の解説と対性 日本の市産の情報処理・関係の解説と対性 日本の市産の情報処理・関係の関係と対性 日本の市産の情報処理・関係の関係と対性 日本の市産の情報処理・関係の関係と対性 日本の市産の情報処理・対策の情報処理・関係の解説と対性 日本の市産の情報の実施 日本の市産の情報の定義 日本の市産の作者の定義 日本の市産の作者の定義 日本の市産の作者の定義 日本の市産の定義 日本の市産の定義 日本の市産の定義 日本の市産の定義 日本の市産の定義 日本の市産の定義 日本の市産の定義 日本の市産産の定義 日本の市産権を関係の定義 日本の市産権を関係の定義 日本の市産権を関係の定義 日本の市産権を関係の定義 日本の市産権を関係の定義 日本の市産権を関係の定義 日本の作者の定義 日本の作者の定義 日本の市産権を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を	目標1 朋	以における神経	経細胞の仕組む	みとそのモデル	について	説明できる。				_			\square					
直接							ハた知覚特性について説明でき	る。		_								
日標	目標3	記内容と福祉	业工学との関う	連性について説	明できる。)				4								
日標7	目標4									_								
直接 日標8 日標9 日標9 日標9 日標9 日標9 日標9 日標9 日標9 日本の情報理とステムの構成 日本の情報理とステムの構成 日本の情報理とステムの構成 日本の情報理とステムの構成 日本の情報理とステムの構成 日本の情報理 日本の相談 日本の情談 日本の情談 日本の相談 日本の相談 日本の相談 日本の相談 日本の相談 日本の相談 日本の情談 日本の情述 日本の情述	目標5									4								
日曜9	目標6										_							
目標10	目標7								_									
日曜10 名3Pへの問連度(計10)	目標8									_								
登業の内容 1 生体の情報処理システムの構成 2 風の各領野における役割分担とその可塑性について 3 神経細胞の妊結のよる情報処理 2 機の情報処理 1 視覚系の神経回路 7 視覚の情報処理 1 視覚系の神経回路 7 視覚の情報処理 1 視覚系の神経回路 7 視覚の情報処理 2 視覚の基本特性 8 視覚の情報処理 2 聴覚系の知覚(色の知覚、立体視) 1 聴覚の情報処理 2 聴覚系の知覚(音圧・周波数・音色の知覚、音源定位) 1 聴覚の情報処理 3 聴覚系の知覚(音圧・周波数・音色の知覚、音源定位) 1 聴覚の情報処理 3 聴覚系の知覚(音圧・周波数・音色の知覚、音源定位) 1 聴覚の情報処理 3 聴覚系の知覚(音圧・周波数・音色の知覚、音源定位) 1 聴覚の情報処理 3 聴覚系の知覚(音形の理覚と発声) 2 年後望の情報処理 3 能変を書談の構造と特性 1 想要の情報処理 3 能変を書談の構造と特性 1 想要の情報処理 3 能変の情態と特性 1 想要系の共通と相互作用・人の感覚の基本特性 5 生体情報処理・指針で 7 ク 2 に現土を 6 形式の定着・確認 7 次ので、	目標9									4								
授業の内容 1 生体の情報処理システムの構成 2 脳の各類形における役割分担とその可塑性について 神経細胞の仕組み 4 神経細胞の世紀による情報処理 5 神経細胞のモデル 6 視覚の情報処理 1: 視覚系の神経回路 7 視覚の情報処理 2: 視波の基本特性 8 視覚の情報処理 1: 聴覚系の神経回路 10 聴覚の情報処理 1: 聴覚系の神経回路 10 聴覚の情報処理 1: 聴覚系の神経回路 10 聴覚の情報処理 2: 聴覚系の知覚 (音声の知覚、差声) 12 平新覚の情報処理 2: 聴覚系の知覚 (音声の知覚 差声) 13 開覚の情報処理 2: 聴覚系の知覚 (音声の知覚 差声) 14 慰愛系の情報処理 2: 聴覚系の知覚 (音声の知覚 差声) 15 生体情報処理 2: 聴覚 20 構造と特性 15 生体情報処理 2 経過で 大の感覚 基本特性 15 生体情報処理 2 接過で 大の感覚 3 表示事項確認のための授業内での演習問題の実施 エモ 2 影 最の表現・交換 前出内容について確認し、次回の内容の関連事項を調べる(15 h)。 東後学修 規定時間 東後学修 規定時間 東後学修 規定時間 第出内容について確認し、次回の内容の関連事項を調べる(45 h)。 東後学修 規定時間 第単位情報線・開発 2 2001年 福田忠彦 生体情報線・朝倉書店、1997年 参考者 機定等 2 年代情報処理。現果堂、2001年 福田忠彦 生体情報線・朝発電店、1997年	目標10											_						
1 生体の情報処理システムの構成						各DPへの関連	度(計10)			7				3		_		
2 脳の各領野における役割分担とその可塑性について 3 神経細胞の仕組み 神経細胞のモデル 6 茂愛の情報処理 1: 視覚系の神経回路 7 規愛の情報処理 3: 視覚系の神経回路 8 視覚の情報処理 3: 視覚系の神経回路 10 聴愛の情報処理 3: 視覚系の神経回路 11 聴愛の情報処理 3: 聴覚系の神経回路 12 平務愛の情報処理 3: 聴覚系の神経の路 12 平務愛の情報処理 3: 聴覚系の神経・回路 12 平務愛の情報処理 3: 聴覚系の知覚(音圧・周波数・音色の知覚、音源定位) 11 聴愛の情報処理 3: 聴覚系の知覚(音声の知覚と発声) 12 平務愛の情報処理 3: 聴覚系の知覚(音声の知覚と発声) 12 平務愛の情報処理 2: 無覚受容器の構造と特性 15 生体情報処理と編世工学 7																		
神経細胞の任紀み 神経細胞の括合による情報処理																		
神経細胞の結合による情報処理 一接受系の神経回路 一接受別・神経回路 一接受別・神経回路 一接受別・			る役割分担と	その可塑性につ	いて													
6 規模の情報処理 1: 視覚系の神経回路 現党の情報処理 2: 視覚系の対策(色の知覚、立体視) 7 規党の情報処理 3: 視覚系の対策(色の知覚、立体視) 関数の情報処理 1: 聴覚系の対策(音圧・周波数・音色の知覚、音原定位) 10 聴覚の情報処理 3: 聴覚系の対策(音圧・周波数・音色の知覚、音原定位) 世報の情報処理 2: 聴覚系の対策(音声の知覚と発声) 12 平衡製の情報処理 3: 聴覚系の対策(音声の知覚と発声) 単常製作器を持ているの構造と特性 13 整質の情報処理 2: 地質受容器の構造と特性 単常性と相互作用・人の感覚の基本特性 15 生体情報処理と福祉工学フランテンプ 2・2 に応用志向 アクランプ 2・2 に応用志向 アクランプ 2・2 に応用志向 アクランタ 2・2 に応用志向 アクランタ 2・2 に応用志向 アクランタ 3・2 に関連事項について確認し、次回の内容の関連事項を調べる(15h)。 エモ・実施の内容の確認と整理、関連事項について顧べる(45h)。 投業時間外学修 教科書を指定しない。 大西昇老、杉江昇『生体情報処理・配晃堂、2001年 福田忠彦 "生体情報過速。朝島書店、1997年 福田忠彦 "生体情報過速。朝島書店、1997年 福田忠彦 "生体情報過速。朝島書店、1997年 福田忠彦 "生体情報過速。朝島書店、1997年																		
6 視覚の情報処理 1:視覚系の神経回路 7 視覚の情報処理 2:視覚の基本特性 8 視覚の情報処理 1:聴覚系の神経回路 9 聴覚の情報処理 2:聴覚系の知覚(音圧・周波数・音色の知覚、音源定位) 11 聴覚の情報処理 2:聴覚系の知覚(音圧の知覚と発声) 12 平衡愛の情報処理 2・現實の規道と特性 13 触覚の情報処理 2・規管の構造と特性 14 感覚系の共通性と相互作用・人の感覚の基本特性 15 性体情報処理と福祉工学 17 2 日			よる情報処理															
7 視覚の情報処理 2:視覚の系の知覚(色の知覚、立体視) 8 視覚の情報処理 1:聴覚系の知覚(色の知覚、立体視) 10 聴覚の情報処理 2:聴覚系の知覚(音圧・周波数・音色の知覚、音源定位) 11 聴覚の情報処理 3:聴覚系の知覚(音圧・周波数・音色の知覚、音源定位) 12 平衡覚の情報処理 3:聴覚系の知覚(音圧の開造と特理 14 感覚系の共通性と相互作用・人の感覚の基本特性 15 生体情報処理と温祉工学 ファップ 2: 意意の表現で検 こに応用志向 ファップ 2: 意意の表現で検																		
8 視覚の情報処理 3 視覚系の知覚(色の知覚、立体視) 9 聴覚の情報処理 1 聴覚系の知覚(音圧・周波数・音色の知覚、音源定位) 11 聴覚の情報処理 3 聴覚系の知覚(音圧の知覚と発声) 12 平衡覚の情報処理 3 聴覚系の知覚と音性 13 触覚の情報処理 2 絶世で名器の構造と特性 14 感覚系の共通性と相互作用人の感覚の基本特性 15 生体情報処理と福祉工学 ファ A: 知識の定着・確認																		
3 聴覚の情報処理 1 聴覚系の神経回路 10 聴覚の情報処理 2 聴覚系の知覚(音圧・周波数・音色の知覚、音源定位) 11 聴覚の情報処理 2 聴覚系の知覚(音声の知覚と発声) 12 平衡覚の情報処理・難覚受容器の構造と特性 13 触覚の情報処理・難覚受容器の構造と特性 感覚系の共通性と相互作用・人の感覚の基本特性 生体情報処理と解覚受容器の構造と特性 15 生体情報処理を確定できるでは、																		
10 聴覚の情報処理 2 : 聴覚系の知覚 (音圧・周波数・音色の知覚、音源定位) 11 聴覚の情報処理 : 半規管の構造と特性 12 平衡覚の情報処理 : 半規管の構造と特性 14 感覚系の共通性と相互作用・人の感覚の基本特性 15 生体情報処理と福祉工学 7 日・知識の定者・確認 7 タ プ					立体視)													
11 聴覚の情報処理:単規管の構造と特性 13 触覚の情報処理:単規管の構造と特性 14 感覚系の共通性と相互作用・人の感覚の基本特性 15 生体情報処理と補工学 ファ A:知識の定着・確認 A:基本事項確認のための授業内での演習問題の実施 エ そ カリ B:意見の表現・交換 ア																		
12 平衡覚の情報処理: 半規管の構造と特性 13 触覚の情報処理: 触覚受容器の構造と特性 14 医愛系の共通性と相互作用・人の感覚の基本特性 15 生体情報処理と福祉工学 ターク・ラーク・ファーク・ファーク 10 加速の定着・確認 日本の世界の表現・交換 日本の世界の表現・交換 日本の世界の表現・交換 日本の世界の関連事項を調べる(15h)。 15 2 2 2 2 2 2 2 2 2						の知覚、音源	定位)											
13 触覚の情報処理: 触覚受容器の構造と特性 感覚系の共通性と相互作用・人の感覚の基本特性 一次 生体情報処理と福祉工学 クラテット 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一					と発声)													
14 歴覚系の共通性と相互作用・人の感覚の基本特性 15 生体情報処理と福祉工学 ファ																		
15 生体情報処理と福祉工学 ラ ア A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造 が出内容について確認し、次回の内容の関連事項を調べる(15h)。 準備学修 教業時間外 学修の内容と想定時間 事後学修 想定時間合計 45 教科書を指定しない。 大西昇著、杉江昇『生体情報処理』昭晃堂、2001年福田忠彦『生体情報論』朝倉書店、1997年	-				141								—			\dashv		
カース カー				ル咫見い基本符	1土													
記念見の表現・交換 記念 記念 記念 記念 記念 記念 記念 記	Ι			・其太重酒砕き	int- かっ)授業内での達							—			-		
C.応用志向 D.知識の活用・創造 加出内容について確認し、次回の内容の関連事項を調べる(15h)。 準備学修 授業時間外 授業の内容の確認と整理、関連事項について調べる(45h)。 担定時間合計 45 担定時間合計 45 教科書を指定しない。 大西昇著、杉江昇『生体情報処理』昭晃堂、2001年福田忠彦『生体情報論』朝倉書店、1997年 極渡涓『視聴覚情報概論』昭晃堂、1987年	I í í 🖂		THE RO					1 1										
グ 7 D:知識の活用・創造 前出内容について確認し、次回の内容の関連事項を調べる(15h)。 授業時間外 学修の内容と想定時間 投業の内容の確認と整理、関連事項について調べる(45h)。 教科書 担定時間合計 45 教科書を指定しない。 大西昇著、杉江昇『生体情報処理』昭晃堂、2001年福田忠彦『生体情報論』朝倉書店、1997年福田忠彦『生体情報総論』朝倉書店、1997年 極渡涓『視聴覚情報概論』昭晃堂、1987年			X1X	1,2,10,2,1	20000		17 7 6 70.55 TF 11 50.											
東本備学修 前出内容について確認し、次回の内容の関連事項を調べる(15h)。 準備学修 授業の内容 授業の内容の確認と整理、関連事項について調べる(45h)。 想定時間合計 45 教科書を指定しない。 教科書を指定しない。 大西昇著、杉江昇『生体情報処理』昭晃堂、2001年 福田忠彦『生体情報論』朝倉書店、1997年 樋渡涓『視聴覚情報概論』昭晃堂、1987年			創浩					1 1										
授業時間外 学修の内容 と想定時間 事後学修	13.		前出四	内容について確	認し、次回	回の内容の関連	連事項を調べる(15h)。											
学修の内容 と想定時間 事後学修 想定時間合計 45 教科書を指定しない。 大西昇著、杉江昇『生体情報処理』昭晃堂、2001年福田忠彦『生体情報論』朝倉書店、1997年 - 樋渡涓『視聴覚情報概論』昭晃堂、1987年																		
と想定時間 事後学修 想定時間合計 45 教科書を指定しない。																		
教科書を指定しない。 大西昇著、杉江昇『生体情報処理』昭晃堂、2001年 福田忠彦『生体情報論』朝倉書店 、1997年 極渡涓『視聴覚情報概論』昭晃堂、1987年																		
教科書を指定しない。 教科書を指定しない。 大西昇著、杉江昇『生体情報処理』昭晃堂、2001年 福田忠彦『生体情報論』朝倉書店 、1997年 参考書 樋渡涓『視聴覚情報概論』昭晃堂、1987年																		
教科書を指定しない。 大西昇著、杉江昇『生体情報処理』昭晃堂、2001年 福田忠彦『生体情報論』朝倉書店 、1997年 極渡涓『視聴覚情報概論』昭晃堂、1987年		想定時間	合計 45															
福田忠彦『生体情報論』朝倉書店 、1997年 参考書 樋渡涓『視聴覚情報概論』昭晃堂、1987年	教科書																	
福田忠彦『生体情報論』朝倉書店 、1997年 参考書 樋渡涓『視聴覚情報概論』昭晃堂、1987年		大西昇著	 杉江昇『牛休	情報処理。四点	堂、2001											\neg		
	参考書	福田忠彦『 樋渡涓『視	生体情報論 』 聴覚情報概論	朝倉書店 、19 』昭晃堂、198	97年 7年	1-												

成	評価方	法	割合	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標 7	目標	目標	目標 10
績証	試験課題		90%										
価	課題		10%										
の													
方													
法及													
び													
評													
価割													
合													
授業を欠席した場合には必ずノートをみせてもらい内容の理解に勤めること 注意事項													
	備考												
į	Jンク	URL											